

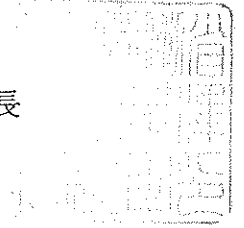


基発 0601 第2号

平成 30 年6月1日

一般社団法人全国建設業協会会長 殿

厚生労働省労働基準局長



「交通労働災害防止のためのガイドライン」の改正について

労働基準行政の推進につきましては、日頃より格段のご配慮をいただき感謝申し上げます。

さて、平成 29 年の労働災害発生状況を見ると、労働災害による死亡者数は 978 人ですが、このうち、202 人が道路上における交通事故によるものです。この死亡災害の半数以上が、バス、トラック、タクシー等の事業用自動車を保有する事業場以外の事業場で発生していることを踏まえ、第 13 次労働災害防止計画においても、バス、トラック、タクシー等の事業者はもとより、それ以外の事業者に対し、「交通労働災害防止のためのガイドライン」（平成 20 年 4 月 3 日付け基発第 0403001 号別添）（以下「ガイドライン」という。）に定めた取組の徹底を図るなど、実効ある交通労働災害防止対策が展開されるよう重点的に取り組むこととしています。

このガイドラインは、労働安全衛生関係法令や「改善基準告示」等とあいまって、交通労働災害の防止を図るための指針となるものであり、これに基づき、安全管理体制の確立、適正な労働時間等の管理や走行管理、安全衛生教育の実施、意識の高揚、荷主・元請け事業者による配慮、自動車運転者の健康管理の実施等について、お願いしてきたところです。

平成 30 年 4 月 20 日に、旅客自動車運送事業運輸規則及び貨物自動車運送事業輸送安全規則の一部を改正する省令（平成 30 年国土交通省令第 40 号）が公布され、本日より施行されることを踏まえ、ガイドラインの一部を別紙（新旧対照表）のとおりに改正します。

つきましては、貴会におかれましても、改正点を含め本ガイドラインの趣旨をご理解の上、会員事業場に対してその周知徹底を図られるなど、①睡眠時間の確保に配慮した適正な労働時間の管理、②乗務開始前の点呼等の実施、③早朝時間帯の走行を可能な限り避けるような走行計画の作成を始めとした、交通労働災害防止対策の推進に特段のご配慮をいただくようお願い申し上げます。

平成29年 労働災害発生状況

平成30年5月30日

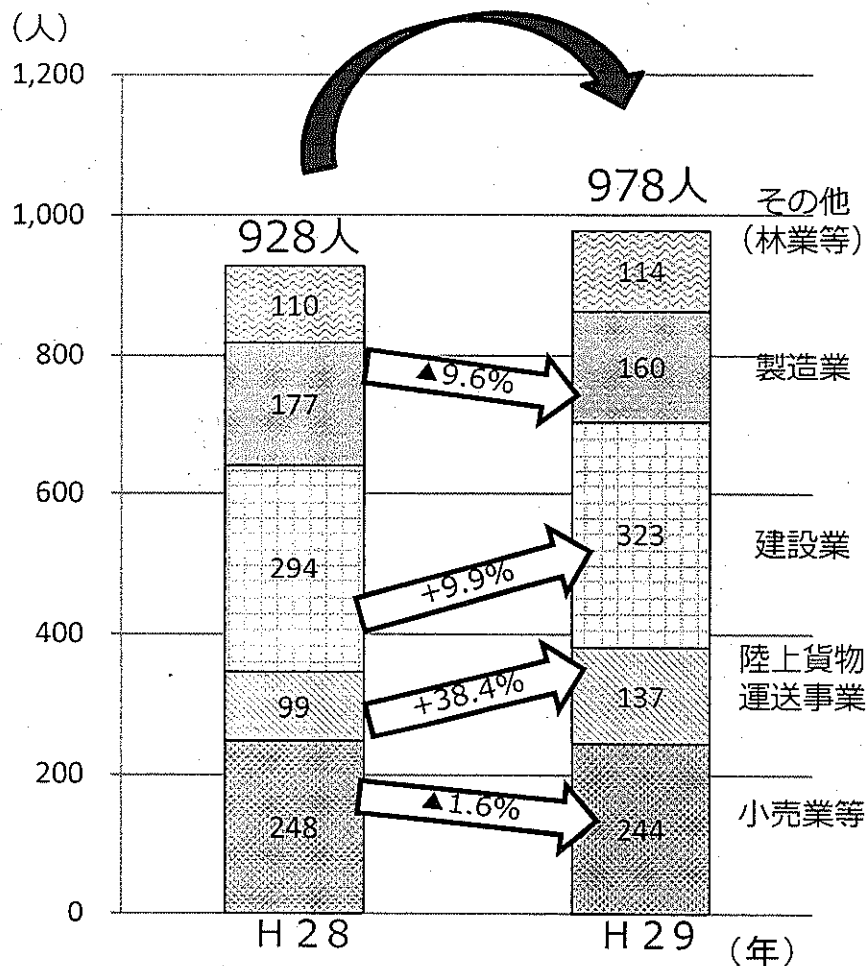
厚生労働省労働基準局

安全衛生部安全課

平成29年 労働災害発生状況 (確定値)

死亡災害

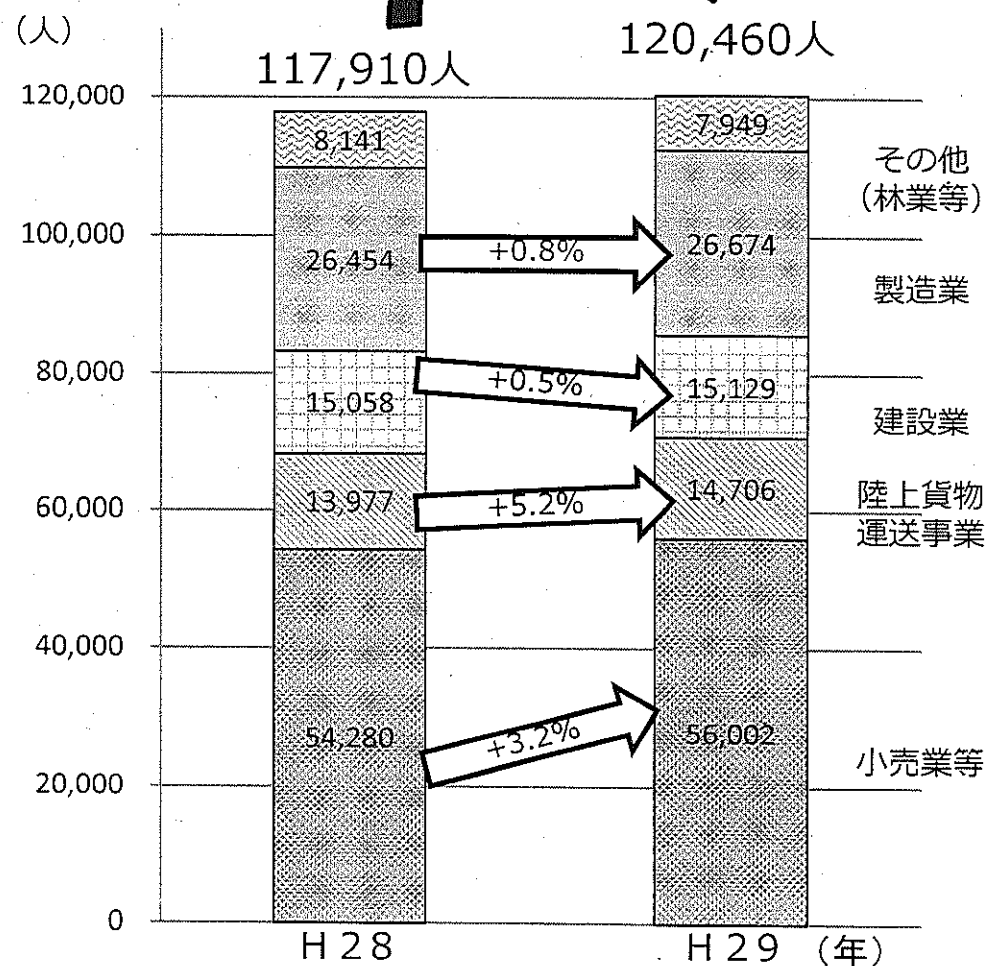
+50人(+5.4%)



出典：死亡災害報告

休業4日以上の死傷災害

+2,550人(+2.2%)

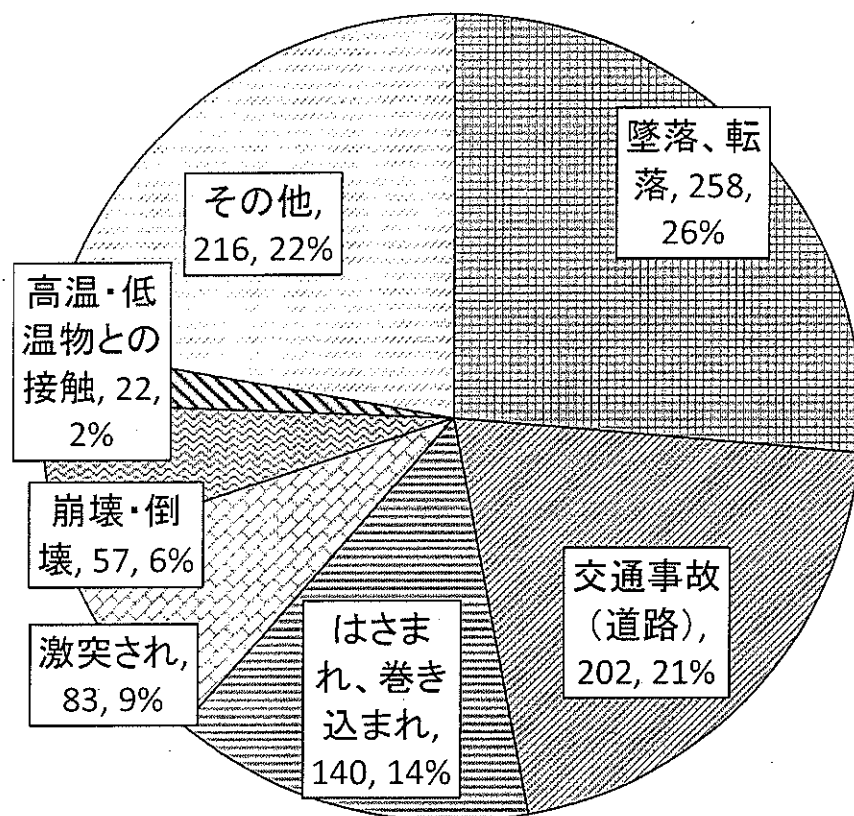


出典：労働者死傷病報告

平成29年事故の型別労働災害発生状況(確定値)

死亡災害

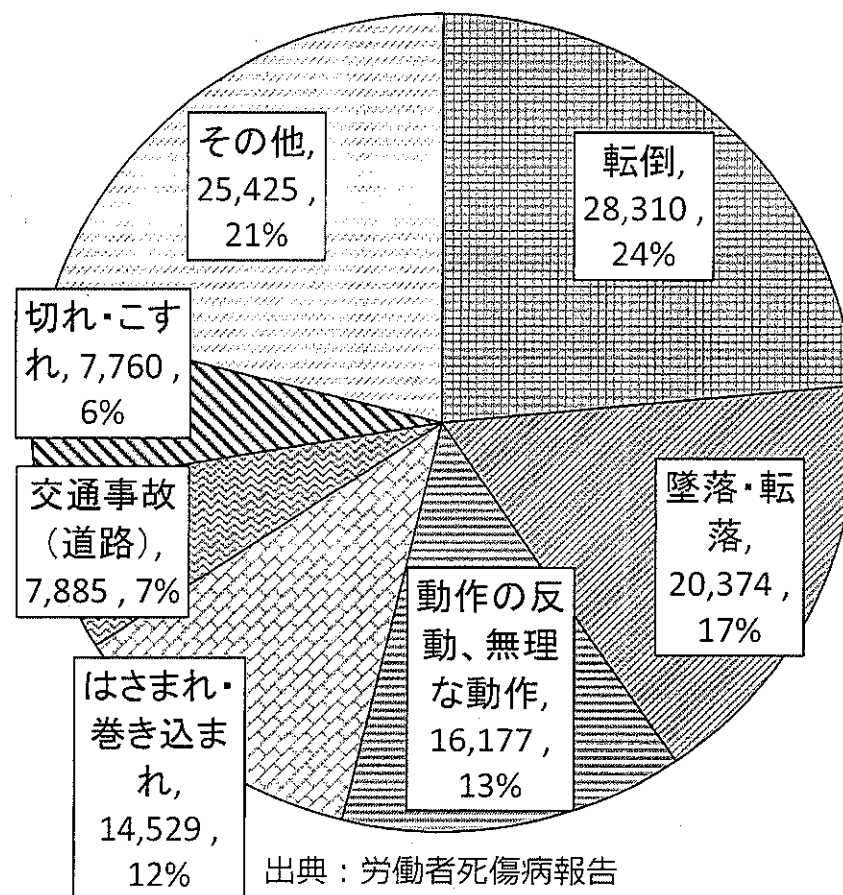
978人、前年同期比+5.4%



出典：死亡災害報告

休業4日以上の死傷災害

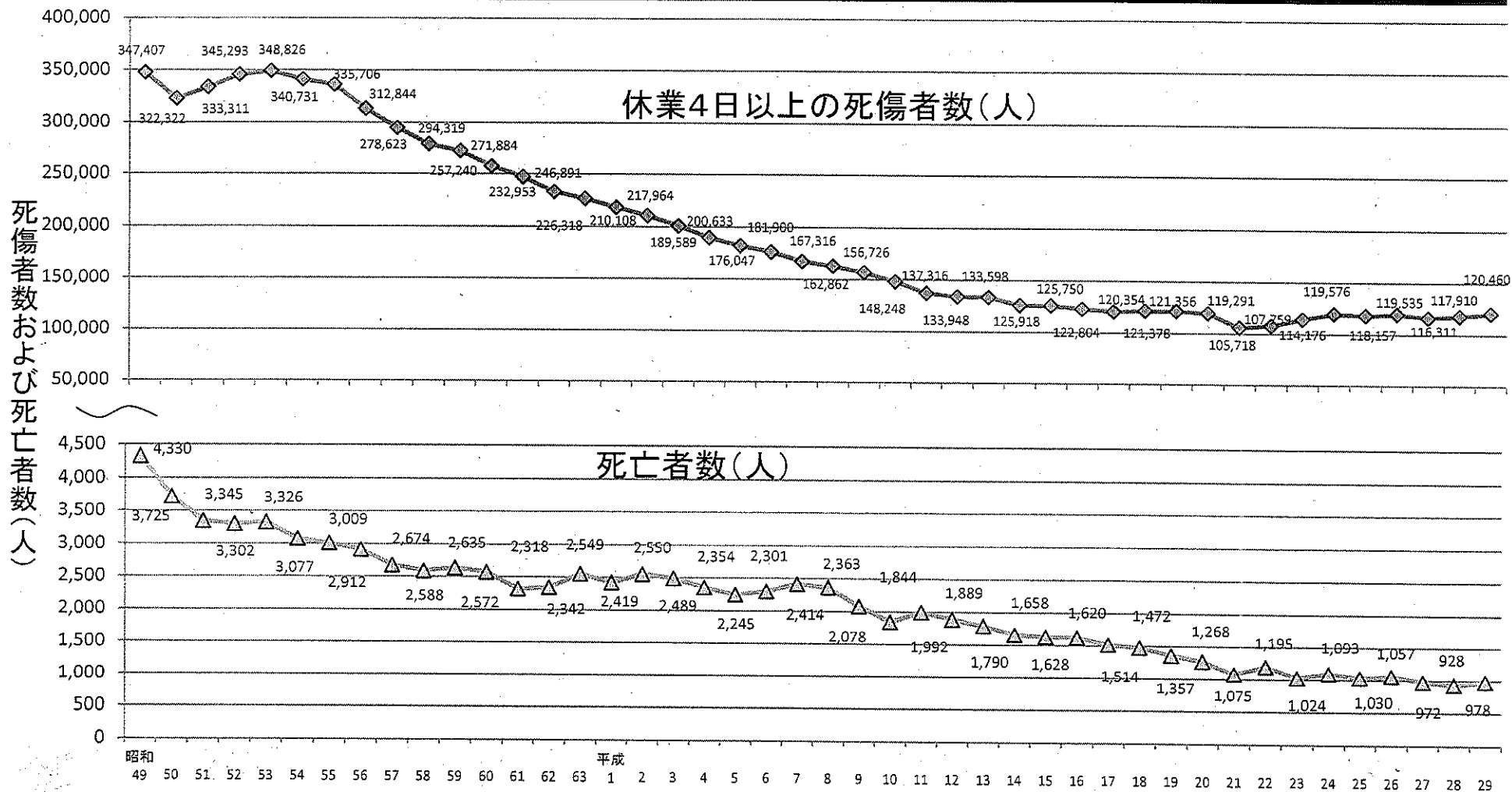
120,460人、前年同期比+2.2%



出典：労働者死傷病報告

労働災害発生状況の推移

- 死亡者数は、長期的には減少傾向にあるが、3年ぶりに増加した。
- 休業4日以上の死傷者数は、陸上貨物運送事業や第三次産業で増加するなどして、2年連続で増加した。



出典:平成23年までは、労災保険給付データ(労災非適用事業を含む)、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成
平成24年からは、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成

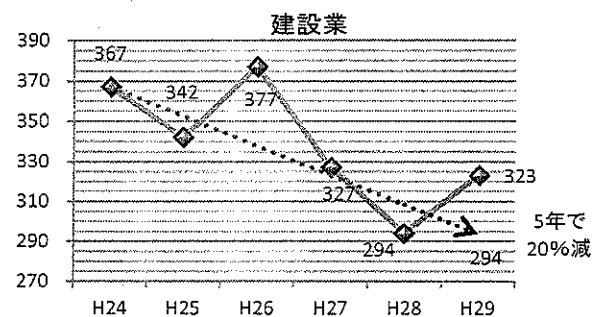
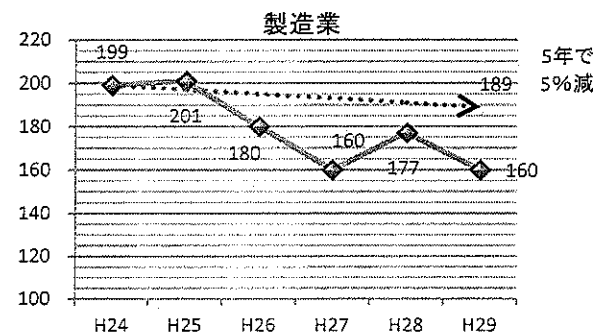
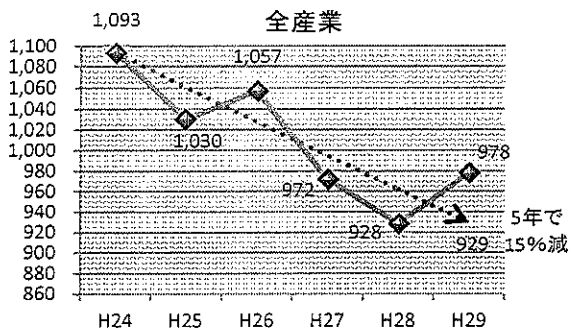
第12次労働災害防止計画に関する状況(平成29年確定値比較)

【目標】○ 平成29年までに、労働災害による死亡者数を15%以上減少させる(平成24年比)

○ 平成29年までに、労働災害による死傷者数(休業4日以上)を15%以上減少させる(平成24年比)

死亡災害

- 平成24年よりも10.5%減少
- 製造業は同19.6%減少
- 建設業は同12.0%減少



休業4日以上の死傷災害

- 平成24年よりも0.7%増加
- 陸上貨物運送事業は同6.3%増加、小売業は同6.0%増加
- 社会福祉施設は同34.8%増加、飲食店は同7.9%増加

